

アルギン酸
カルシウム

機能性表示食品で拡販へ

キミカ

食後の血糖値上昇抑制

SR対応も視野に知見集積進める

キミカは、アルギン酸カルシウムを関与成分とした機能性表示食品「アルギン酸カルシウムカプセル（届出番号：J1305）」が5月22日付で消費者庁のHPにて公開されたことを明らかにした。食後の血糖値上昇抑制機能を表示し、一日摂取目安量あたりアルギン酸カルシウムを1.5g含有する。アルギン酸カルシウムは指定食品添加物としてさまざまな食品に使用される一方、同社による機能性研究も進む。キミカではB to C販売を予定するほか、研究レビュー（SR）作成も視野に、天然海藻由来の食物繊維素材としてアルギン酸カルシウムの利用拡大を図る。

今回同社が届出した商品は、アルギン酸カルシウムを機能性関与成分としたカプセル状のサプリメント。一日摂取目安量は5粒で、5粒あたりに同成分を1.5g含有する。届出表示は「本品にはアルギン酸カルシウムが含まれるので、食後の血糖値上昇を抑える機能があります」とし、機能性については最終商品を用いた臨床試験により評価を行っている。

アルギン酸カルシウムは、指定食品添加物として食品に利用され、アルギン酸ナトリウムと併用することで得られるゲル化能を生かし、飲料や調味料などに用いられている。近年では、しっとりした食感が特徴の「多加水パン」の作業性を向上しつつ高い加水率を両立できる点などがユーザーから評価されている。一方で、キミカでは同成分の機能性研究を進め、これまで動物試験において血中中性脂肪濃度の低下、血中コレステロール濃度の低下作用などの作用を確認してきた。また、すでに同社ユーザーにより「アルギン酸Ca」を関与成分とした麺類も機能性表示食品としての届出実績があり、血糖値上昇抑制機能を表示している。同社ではこれらの研究実績や届出事例を生かし、アルギン酸カルシ

ウムの利用可能性をさらに広げる一手として、よくに広げる一手として、よく

今回の機能性評価に用いられた臨床試験は、空腹時血糖値が60～125

mg/dL未満の健康な18歳以上の男女23名を対象としたランダム化二重盲検クロスオーバー比較試験であった。試験食は①对照カプセル5粒（同成分を含まない）、②試験カプセル3粒（同成分0.9gを含む）、③試験カプセル5粒（同成分1.5gを含む）とし、主要評価項目

は食後血糖値とした。その結果、アルギン酸カルシウム1.5gを含む試験カプセルを摂取した場合、同成分を含まないカプセルを摂取した場合と比べて有意な血糖値上昇抑制効果が認められた。

キミカでは、今回届出した同商品をB to C販売する予定で、今秋から同社ECサイトで発売する。またアルギン酸カルシウムの機能性研究についても、SRの作成も視野に入れて引き続き行っていく。今後はさらに血中中性脂肪やコレステロール、脂肪蓄積などにアプローチする試験を実施しエビデンスの集積を進める意向だ。